

# 請願第1号 市立諏訪幼稚園の廃園と教育委員会の対応に関する請願

## 市立諏訪幼稚園の廃園と教育委員会の対応に関する請願

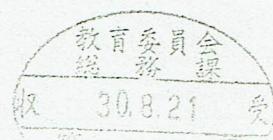
### 請願の趣旨

平成30年7月10日に、教育委員会教育指導課、教育政策課及びこども育成部保育運営課担当者と市立諏訪幼稚園すわ会役員3名と前すわ会役員2名の計5名で市立諏訪幼稚園に関する状況報告と意見交換会が開催されました。

昨年度、諏訪幼稚園の保護者を代表して「諏訪幼稚園を守る会」から教育委員会に請願書を提出し、教育委員会から頂いた審議結果には「廃園時期については市立幼稚園の取り巻く状況に応じて別途定めるとしています。現在、その状況を確認しながら進めていますが、これからも、保護者をはじめ地域の皆様とお話し合いを持ち、合意形成を図りながら決定していきたいと思います。今後もいただいた意見を重視し、幼児教育の充実に努力してまいります。」との回答がありました。また、それ以前の意見交換会の回答においても「一方的な説明に終始することなく諏訪幼稚園保護者や関係者から意見を伺っていく。」や「年度が替わり、保護者も替わるので、年度初めには説明する。」と回答があったにも関わらず、数名の保護者に説明したのみで「閉園に係る現状を報告した。」とし、諏訪幼稚園保護者全体や地域の方々、関係者を対象とした教育委員会による口頭での説明や意見交換会を今年度一度も行わず、教育委員会定例会で廃園の時期を早急に決定しようすることは諏訪幼稚園保護者一同、到底納得することはできません。

そして、廃園前に单一学年となる際のフォローの仕方や廃園後の施設の活用などの方針が何一つ決まっていない中で廃園時期を決めるのは時期尚早ではないかと思わざるを得ません。特に、最終入園児が年長時に单一学年となることについては、今まで行われた意見交換会でも質問に上がり多くの保護者や関係者が気にかけてきたことです。それは、廃園が決まっている幼稚園に入園を望む保護者はどれだけいるのかを考えた時、廃園時期の告知後の園児募集最終年度を待たずしてやってくることも考えられます。また、今後行われるであろう廃園時期の告知の際は、その時期や单一学年になることの表面的な部分だけではなく、廃園を控えていてもこれまでと同等の幼稚園教育を行っていくことも記載し、今後入園を希望している未就園児とその保護者の不安を1つずつ丁寧に取り除いていくことが必要だと感じています。

このように、わたくしたち諏訪幼稚園保護者は教育委員会が真摯に対応してくれることを期待していたにも関わらず、これまでの対応に誠実さや丁寧さを感じることができず、諏訪幼稚園保護者と教育委員会間にまったく合意形成などない中で教育委員会側が廃園時期を決定しようとしていることは大変遺憾であり、これまで時間をかけて行ってきた意見交換会はまったく意味がなかったのではないかとすら感じておりますことから、下記のように請願いたします。



## 請願項目

1. 廃園時期については、昨年度、「諏訪幼稚園を守る会」から教育委員会に提出された請願書への回答を始め、それ以前の教育委員会事務局のご回答の通り、諏訪幼稚園保護者全体、地域の方々、関係者に必ず説明し、意見交換会などを行い、合意形成を図った上で決定していただけますようお願いいたします。
2. 廃園にあたっては、最終年度に年長組のみの单一学年となることが考えられますが、その場合も、これまでと同等の幼児教育を行うことができる教育内容を廃園時期の決定以前に計画いただけますようお願いいたします。
3. 廃園時期を決定する前に、建て替えから数年しか経っておらず今後も利用可能な幼稚園施設を廃園後どのように活用するのかを明確にするようお願いいたします。
4. 廃園の告知(市民説明会や広報よこすか等に掲載)においては、廃園時期、廃園前年度には単一学年になること、また、それ以前に单一学年になったとしてもこれまでと同等の幼稚園教育を受けられることを保証する内容とすることをお願いいたします。また、廃園時期など諏訪幼稚園に係る事柄に変更があった場合は、早急かつ確実に市民に周知されるような告知をするようお願いいたします。

平成30年8月21日

横須賀市教育委員会

教育長 新倉 聰

委員 荒川 由美子

委員 三浦 淳太郎

委員 小柳 茂秀

委員 澤田 真弓

請願者

